

第廿二回 産婆生徒募集

看護婦 若 干 名

一 募集人員 若干名

一 修業年限 兩科通ジテ一ケ年

一 申込期間 本年四月八日迄

平町南町(電話三〇七番)

平 産 婆 學 校

看 護 婦 校 長 清 野 キ ヨ

新 菓 『時雨の松』 發 賣

今回大方諸彦のむすゝめに依り風味体裁等を吟味して菓子「時雨の松」を製造しました御進物や御土産には好適品と存じますが左記各店にて販賣中ですから一度お試し願ひます

平町小太郎町(電話三六〇番)

一 包 十五錢

榮屋製菓所

一丁目 金澤菓子店
二丁目 吉野菓子店
三丁目 立花菓子店
四丁目 永野菓子店
五丁目 柳屋商店

出前 日進堂支店
同前 伊東土産店
同前 好川菓子店
同前 柴田菓子店
同前 水野菓子店
同前 福屋菓子店

外務社員招聘

廿五歳以上の男女として経験有無を不問奮闘的の方を求む

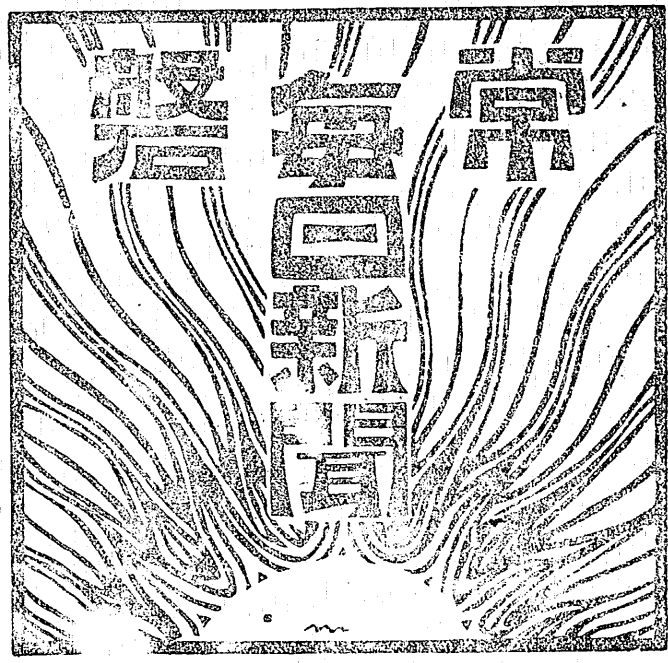
個定給の外多大の歩合あり

御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ

仁壽生命保險株式會社

平 監 督 所

福島縣平町字仲町二



月刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番)

刊夕日九十月三

學入御のんやち坊お
たしまひ揃が服洋の
荷着服洋生學入新
黒小倉220紺ヘル540
店服洋やかな紺サージ420

入學ト卒業

に御祝の贈物には

正 確 堅 牢 計 時 置

一家團樂には
イロ／＼蓄音器に限る
音譜種々取揃て有ります

平町四丁目(電話三三三三)

會田時計店

ノンパロソ

ンバカ生學

店書田柴モトルマ

番四三二話電

御 訖

今般小生儀本郡地方を恐怖せしめつつある天然痘に胃され目下隔離病舎に静養致し居り候平町民諸君に惡魔的の恐怖と不安とを與へたる事を深く御詫仕候

遙に全町民諸君の健康を祈る

平町隔離病舎にて

河北新報平通信部長
横 山 顯

生徒募集摘要

一、募集人員

一、入學手續

- 1 高等女學部第一學年 五十名
- 2 全 第二學年 補欠 若干名
- 3 裁縫女學部普通科 百五十名
- 4 全 高等科 若干名
- 5 專 修 科 三十名
- 6 洋服裁縫科 高等科 二十名
- 7 研 究 科 二十名

△志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上三月三十一日マデ平町藤田女學校ニ提出スベシ

△定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス

△詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ

昭和三年三月

福島縣平町 私立藤田女學校
全 湯本町 私立藤田女學校 湯本分校
全 江名町 私立藤田女學校 江名分校

手續中江名町役場ニ提出

優良なる衛生的

マスク各種

時節柄御使用ノホド

平町四丁目(電話四〇番)

關内藥局

父猪佐吉本日葬送の際

御會葬を賜り殊に御香奠を辱ふし
たる段難有不取敢乍略儀以紙上御
厚禮申上候

昭和參年三月十八日

藤 居 勝 武

常磐文藝

『田舎の家』 片寄歌二

▽ 道

なんでもなないような田舎の道
それだのに遠くまで續いて
ある馬車の轍が美しく
道の兩脇には櫓が並んで
て
白すんだ枝が折からの微風
に吹かれて素の
ユーカシヤの春を想はやる
道よ
遠い麥畑につままれた百姓
家に流れこんでゐる小道ま
でが
やわらかくうねつてゐる

へんに春めいたものが溢れ
てゐる

折にふれて

美瀬

- ◇ 強風の日ねもすあれてなほ猛き
- ◇ 夜をさめて火の守する人
- ◇ 夜もすがら寝ねがたき日のつづけりと
- ◇ 飯かしく母が下りるとる枯薪
- ◇ 色ごもわかぬみ手のふし
- ◇ み社の祭の火とてとぼされし
- ◇ 大いなる火も衰へそめぬ

吹けよ風汝がのせて來し
わか春の
花のいのちにさわりあら
せず

戀衣もかつきてみまな春
の夜の
ゆめにもおちすあはれふ
くるか

春はいとわびじきものか
なやまじき
生命の鎔爐みつめてあれ
ば

あはれ身におくかたもな
き夜をまねぐ
ことのいげきを誰につけ
なむ

編輯記者募集

一、資格 専門學校卒業以上の學力を有し多少經驗ある者

一、人員 一名(申込多數の場合は試験採用す)

一、俸給 初給七十圓

此外見習記者として中等學校卒業程度以上の學力を有する者一名採用す

右志願者は三月卅一日迄に履歷書持参出頭されたし

常磐毎日新聞社

大越中佐の銅像

除幕式は花の四月

既に子銚倉神社境内に

赤堀氏監督の下に建設

元警城中學校長故植竹源太郎氏を會長とする大越中佐顯彰會では數年前から同中佐の雄魂毅魂を永遠に傳ふ可く銅像建設の計畫をたて特志者の寄附募集中折あしくも帝都の震災に遭遇その後また一財界の不況動搖等に災され容易に進捗を見

なかつたが會長植竹氏の奔走で寄附金も豫定以上に達し、像は平町出身の巨匠赤堀新平氏の手により作成中であつたが完成し縣社子銚倉神社境内既成の臺石上に赤堀氏監督の下に建設した尙之が除幕式は花の四月を期して盛大に行ふ筈である

四月一日から

聽取者受付開始

三等局やラヂオ商にても

申込を受ける

宣傳勸誘に大童

仙台放送局にては五月一日には本放送を開始することに決し演奏所放送所間の連絡線架設にも取かゝつて居るが何と云つても加入者の大募集が大問題とあつて種

なつて居るが大體三萬近い聽取者がなければ經濟がとれぬと云ふ事であるが既に平町の五百名を始めとし各

佑賢卒業式

本日舉行さる

既報本日第十六回卒業證書授與式を舉行した佑賢學舎の卒業生左記の如くである

(五十音順)

- ▽本科之部 會田謙、阿部武男、赤津秀三、五十嵐虎太郎、江尻要、大塚勇、大友義國、大平孝内、大和田正三、楠田章、久保木捨次郎、佐藤馨、佐藤三郎、齋藤亥之八、佐藤三郎、鷺良司、齋藤直次郎、坂田一利、佐藤子、鈴木武、鈴木正、高木賢治、戸田榮、藤堂操、永山敏正、内藤義次、永山茂隆、永山喜榮、新妻豊二、瓶正二、西山政敏、星寛、森強、柳田等、吉野

- 徳四郎、渡邊三彦、吉田武雄、遠藤武雄、小高正昌、岡田正、石上テル、入倉ミツ子、飯尾マサ、大和田キユ、柏原タニ子、大勝キヨ子、上遠野トキヨ、川島さく、草野文子、駒木根サヲ、駒澤ハナ、佐藤キヨ子、佐藤文子、佐藤ヨシノ、酒井ヨテ、庄司ツマ子、鈴木いなみ、高橋ヒデ、永久保チヨ、西野ハル、沼田ヨシノ、本タイ、萩野ハル、松崎トモ、馬上ヤン、室越ノブ、矢吹アイ子、吉田マサ、吉田マサ、猪狩美幸
- ▽普通科之部 荒川力、猪狩忠衛、猪狩通、磯上富保、江尻茂、宇佐日安友、大友隆造、大友交、大熊銀郎、大友春太郎、小野昌元、小野章平、金賀武彦、加藤四五一、木

春めいて暖かな

昨日の彼岸入り

散策の人に賑ふ松ヶ岡公園

暑い寒いも彼岸までといふがきのふ十八日は入日で漸く彼岸になつたからこれから日に増し暖くなり人々のあこがれる櫻花爛漫の節もじきである、そしてその今年の花盛りは上には御大典が行はせられる年であり昭和維新を歓迎する意味で例年になく賑はひを早すべく早くも催しものは假裝行列などの相談も行はれてゐるさうで之に對しては警察當局なども大目に見ると語つてゐるが既に春めいて來た平の今日此頃の散策の人々



家庭編

天ぶらの衣の拵方

天ぶら屋に食べる天ぶらは衣がふんわりとあつて居ますれでからりとあつて居ます

工業補修學院

愈開設さる

平聖公會内に

石城地方は東北唯一の工業地として従來工業に従事してゐる人士が少くないのであるが工業教育機關が備はつてゐないために斯學を研究せんとする篤學者をして

植竹氏遺作

油繪展覽會

來月一日から三日開城訓育院にて美友會主催同會前會長植竹源太郎氏の遺作油繪展覽會を開催し氏の眞摯なる藝術を透して高潔なる人格に接し聊か追悼の意を表す由

募集

文藝其他投稿を募集します

宿屋が断る

危険視されて

昨今石城郡地方に猖獗を極むる天然痘は全国的恐怖の的となり各地方何れもこれに刺戟されて豫防種痘を行つてゐる様であるがため遠隔の地にもこの種痘を同様に接するに注意せよと、県外へ旅行しては福島縣と云つた、石城郡のものでもなく、旅館の如き接客業者はこれに注意すべき豫定の旅行な泊所の際に限り意外の宿狂ひを生ずる様な事になるから旅行に際しては相當の考慮が必要である

平産看卒業

明廿日舉行

平町南町平産看護婦學校にては廿日午後二時より第三廿二回卒業證書授與式を舉行するが卒業生氏名左記の如くである

- 田吉中、金谷貢、草野正一郎、草野清、草野政敏、倉島一郎、國井敏雄、佐藤正道、佐藤信次、佐藤一平、澤田清、酒井宇佐美、志賀義雄、鈴木正明、鈴木多司馬、須藤茂、關内和介、高木三平、高木茂雄、大樂弘、東條祐守、新妻一美、新妻喜平、芳賀雅壽、松崎榮一、馬目與三郎、宮川武夫、守谷兼明、矢野織太、山崎與平、矢吹昇、菜谷光雄

- △産婆科(いろは順) 西山ムメ、新妻カネヨ、新妻テヲ、富岡イク、大友トク、小野キン、渡邊マサコ、上遠野ハルイ、金成ミヨ、菅野チヨ、叶田タキ、葛石キヨ、吉田トヨ、高萩ロク、高原マツノ、高木キク、高木コヨ、遠丹野ユキ、永山コヨ、遠藤シナ、草野ハナヨ、草野ユキ、矢野ヨシ、松本タイ、小松シメ、小泉マサ、青木ユキ、坂本ハン、齊藤マス、齊藤キミヨ、佐藤ヨネ、佐藤トミ、佐